



縄文集落の広がりを考える上での重要な発見 尖石遺跡での現地説明会

11月5日、国の特別史跡「尖石石器時代遺跡」の西側に隣接する民有地で行っている発掘調査の現地説明会が開催されました。市内外から約80名が参加し、文化財課の職員の説明を聞きました。

今回の調査では、竪穴住居跡ともいえる縄文時代中期中頃の土器を伴う大きな掘り込みが1か所、縄文時代中期とみられる土坑（貯蔵穴や柱穴など）が21か所見つかりました。また、6本の柱から構成される掘立柱建物跡が同遺跡では初めて見つかり、縄文集落の広がりを考える上で極めて重要な発見となりました。



紅葉が美しい森になることを願って 市民の森第14回育林祭

10月29日、「市民の森第14回育林祭」が開催されました。茅野市と市民の森を創る会が主催し、茅野市地球温暖化対策地域協議会が共催する形でわれ、市内企業の㈱キッツメタルワークス、東洋精機工業㈱、野村ユニゾン㈱（順不同）や一般参加者など約40人が参加しました。

今年は、カエデの苗木20本を市民の池を周回する遊歩道沿いに植樹しました。参加者は、植樹したカエデが大きく育ち、美しい紅葉を見せてくれることを期待しながら植樹を行っていました。



宇宙飛行士としての体験などについて語る 土井隆雄さん(宇宙飛行士)講演会

11月19日、公立諏訪東京理科大学で土井隆雄さん(宇宙飛行士・京都大学特定教授)が講演会を行いました。八ヶ岳総合博物館で開催されている企画展「信州天文文化100年」の関連イベントとして開催され、県内外から約130人が参加しました。

打ち上げの際に搭乗したスペースシャトルでの体験や宇宙での生活、宇宙から見た地球の美しさなどについて語り、参加者は貴重な体験談に耳を傾けていました。

講演後には、国立天文台天文情報センター長の山岡均さんと土井さんの対談も行われました。



小中校生の力作を表彰 茅野市小中高校生調べ学習コンクール表彰式

11月7日、「第16回茅野市小中高校生調べ学習コンクール表彰式」が茅野市役所で開催され、入賞者(審査員特別賞を除く)が今井市長はじめ各賞の授与者から表彰状と盾を受け取りました。

今年は、1,247作品1,251名の応募があった中から、市長賞・読書の森読りーむinちの賞・茅野市こども読書活動応援センター賞に1作品1名ずつ、教育委員会賞・審査委員長賞の小学生低学年・中学年・高学年・中学生から各1作品4名ずつ、審査員特別賞には11作品11名が選出されました。